

2006 年度

科目名 中国語Ⅰ（コミュニケーション）	対象学科・学年 文学部教福1回生 教育教福1回生	担当者 井戸 有紀
授業テーマ 発音を中心とする中国語基礎の習得		
授業の概要と目標 現代中国語を修得するための初歩を学習する。言語学習の土台となる正しい発音を身につけるためにまず音声面の学習に重点を置く。発音訓練はできるだけ個別指導も取り入れつつ、徹底的に行う。具体的には、一つ一つの音節について、正確なピンイン表記と発音ができること、ならびに一音節の声調の区別や二音節以上での声調変化のパターンを身につけられるよう練習する。次に、生活に密着した簡単な口語表現を学ぶ中で、使用頻度の高い基本語および初歩的な文法知識を学習する。		
評価方法 平常点（出席状況・授業態度）ならびに随時行う試験の点数を総合して評価する。		
テキスト 《最新版》中国語はじめての一步	著者 尹景春・竹島毅	出版社 白水社
参考書	著者	出版社
授業スケジュール・内容		
1. 中国・中国語とは	中国・中国語についての概説と学習アンケート。	
2. 発音の基礎	中国語の特徴の一つである声調について・母音・子音の練習とピンイン表記。	
3. 発音の基礎	単語の発音練習。簡体字の紹介。簡体字・声調・ピンインをセットで覚える習慣を付ける。	
4. 第一課	人称代名詞・“是”の文	
5. ”	”	
6. 第二課	指示代名詞・疑問詞疑問文・所有の“的”・副詞“也”	
7. ”	”	
8. 第三課	動詞の文・所有の“有”・省略疑問の“呢”	
9. ”	”	
10. 第四課	助数詞・指示代名詞（2）・形容詞・数の尋ね方	
11. ”	”	
12. 復習テスト	第一課から第四課までの内容が身についているかを確認。	
13. テスト解説・発音テスト	前週に行ったテストの解説・個別の発音テスト	
14. 中国映画鑑賞（前半）	比較的聞き取りやすい中国語の映画を、聞き取れる単語を探しながら鑑賞する。	
15. ”（後半）	”	
16. 前期の復習と文化の紹介	前期の勘を取り戻すように練習。また、中国の書籍や写真や音楽などを紹介。	
17. 第五課	完了の“了”・存在の“有”“在”	
18. ”	”	
19. 第六課	数字・日付と時刻・「いつ？」の尋ね方	
20. ”	”	
21. 第七課	介詞（1）・反復疑問文	
22. ”	”	
23. 復習テスト・解説	第五課から第七課までの内容が身についているかを確認。	
24. 第八課	時間量を表す語・「しなければならない」の“得”・介詞（2）	
25. ”	”	
26. 第九課	経験のアスペクト・“是～的”の構文・介詞（3）	
27. ”	”	
28. 復習テスト・解説	第八課から第九課までの内容が身についているかを確認。	
29. 中国映画鑑賞（前半）	ナチュラルスピードで、既習の文章が聞き取れるかどうか力試ししつつ鑑賞する。	
30. ”（後半）	”	